



らいぶらりい

2E・2W 図書委員発行 令和8年2月13日

本屋大賞 2026 ノミネート作品発表

今年も2月6日正午に発表になりました。この10冊がノミネート作品です。10冊揃い次第、カウンターの横に展示しますので楽しみに待っていてください。



Supported by NOLTY 手帳ブランドNOLTY(ルルティ)は本屋大賞を応援しています。

ちなみに、『暁星』(湊かなえ)・『熟柿』(佐藤正午)・『PRIZE』(村山由佳)の3冊はもう入荷済みです。今年はこの本が大賞を取るか、全部読んで自分の中で順位をつけるのも楽しいですよ。

この本は
現在
入荷待ち
です。



小田 雄三先生 (英語科)

『源氏物語(まんがで読破)』 著者：紫式部(Team バンミカス)

NHK 大河ドラマで「光る君へ」が放送されたことをきっかけに興味を持ち、とりあえずまんが版を読んでみようということでこの本を手に取りました。驚くことに「源氏物語」は1000年前に書かれた長編の物語でしかもまんが1冊でどうまとめているのだろうという興味もあり読み進めました。

読む前は光源氏という貴公子(チャライイメージがあった)の軽い話と思っていたけれど、読んでみると今まで読み継がれて古典として認められている理由というものがわかってきてそれは面白かったです。取り上げられている題材(罪と罰、無常観、ものあはれ)や登場人物のキャラクター設定(こんな人今もいるよねー)や登場人物の気持ちや感情の持ち方は今とかわらないねーとか、感じたことや発見してうれしかったことを他の人にぜひ話したいという気持ちになりました。

「まんが」だったけれどこの本を読むにあたり、平安文化、人物、歴史、政治、古典文学(学生時代に学んだもの)を別に復習できたので少しだけ教養を深めることができました。実用的な本ではないですが、将来教養のある大人になるため有意義な本だと思いました。「源氏物語に出てくる登場人物の中であなたは誰が推し? 私はねー…」といった形で会話が進むと何かいいと思いますよ。

新着図書入りました

図書館の入り口に新着図書を並べました。図書館のおすすめは青山美智子さんの『チョコレート・ピース』や浅田すぐるさんの『そろそろ論語』です。あと、『解きたくなる数学』も面白いですよ。キャッチフレーズが「ひと目で 問題の意味がわかる ひと目で 問題を解きたくなる」だけあって、写真を見ていると惹き込まれます。

また、同じ数学の『おおい点P、動くんじゃねえ』も、なかなか笑えます。



数学を勉強しているとき絶妙に納得できないテーマを、算数・数学に不満たらたらなケンジと、勉強好きな兄貴が対話しながら紐解いていく、という内容です。共感しまくりです。

あと、2月なので、チョコレートレシピ本・恋愛に関する本・おやつの本といったバレンタインデーにちなんだ展示もしています。



図書委員のおすすめ本



2W 河野 大輝

『恥知らずのパープルヘイズ』
(著:上遠野浩平)

この本は、ジョジョ第五部の半年後の物語。フーゴの狂暴すぎる幽波紋「パープルヘイズ」、その残酷性は彼の何を表しているのか。ぜひ読んでみてください。



2E 松山 竜己
『往復書簡』
(著:湊かなえ)

この本は、手紙を通して事件事故の真相が明かされていくというストーリーの小説で、三つの話が収録されています。手紙だからつける嘘など面白いので読んでみてください。



2E 濱田 知弘
『かがみの孤城』
(著:辻村深月)

この本は、不登校の少年少女が不思議な城に集まり、隠された秘密を解くファンタジーな本です。

伏線回収など面白いので読んでみてください。

